

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県小鹿野町 国民健康保険町立小鹿野中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
11,214	8,475	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

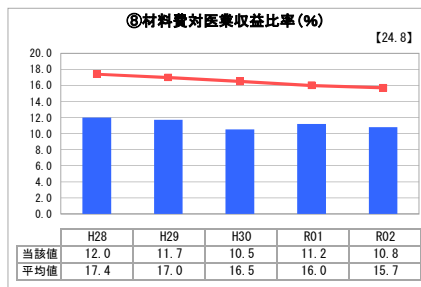
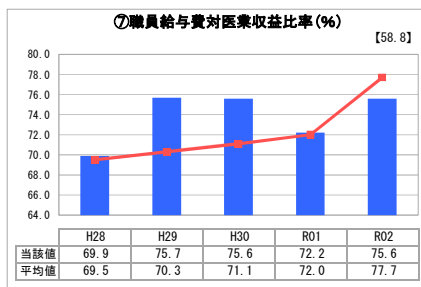
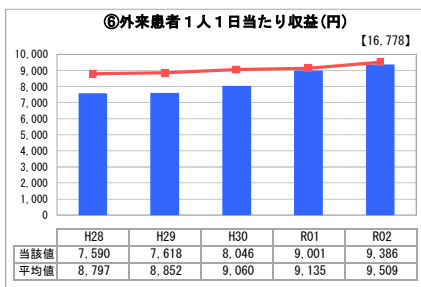
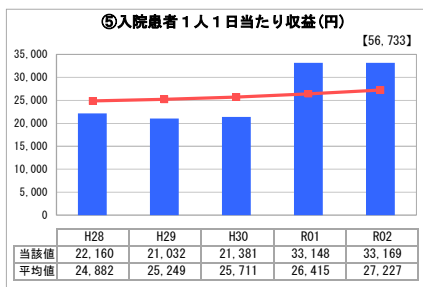
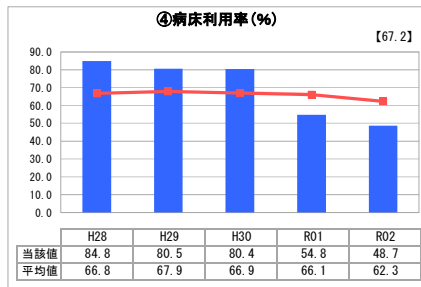
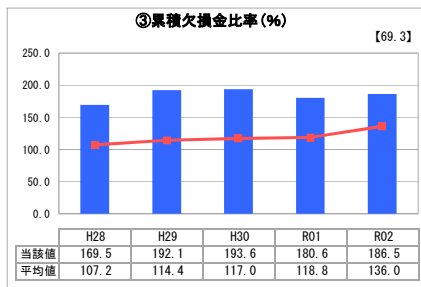
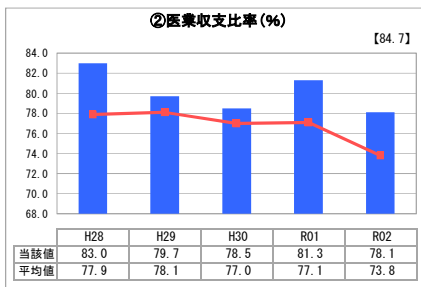
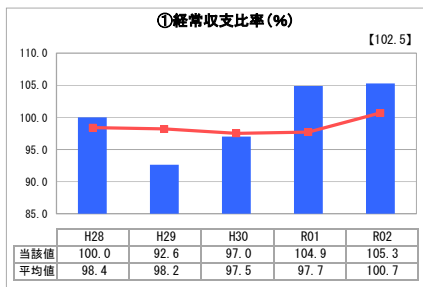
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
95	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	95
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
95	-	95

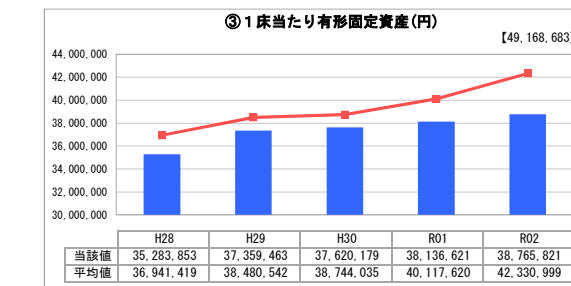
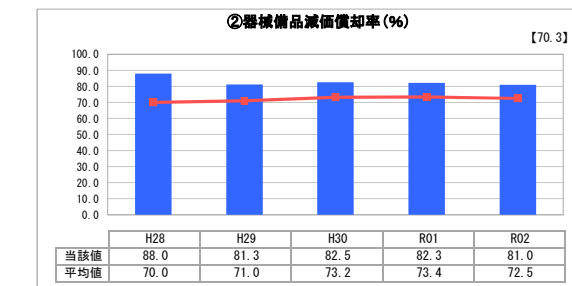
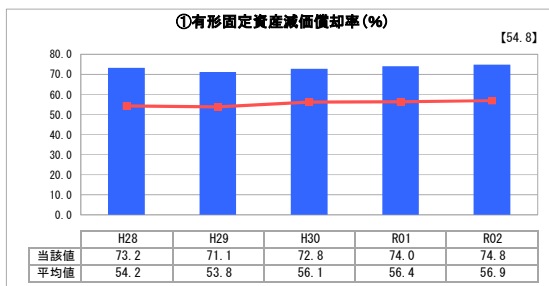
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

平成31年4月に療養病棟を廃止し、以降急性期病床45床、回復期病床30床（地域包括ケア病床）で運営している。西秩父地域では唯一の病院である。予防からリハビリまで切れ目のない医療を提供するため、訪問診療、通所リハビリ・訪問リハビリサービスを行っている。また、緩和ケアの対応も行っており、地域に親しまれる病院であるために、地域医療に取組む病院としての役割を担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率—新型コロナウイルス感染症拡大により外来・入院・介護サービスいずれも患者数に押し増えとなり一般診療科に追加の収入を確保した結果前年度比で増えたとが、②医業収支比率—一部診療科に追加の収入を確保した結果前年度比で増えたとが、③累積欠損金比率—前年度より増えたとが、④病床利用率—前年度より増えたとが、⑤入院患者1人1日当たり収益—前年度より増えたとが、⑥外来患者1人1日当たり収益—前年度より増えたとが、⑦職員給与費対医業収益比率—前年度より増えたとが、⑧材料費対医業収益比率—前年度より増えたとが、⑨有形固定資産減価償却率—前年度より増えたとが、⑩器械備品減価償却率—前年度より増えたとが、⑪1床当たり有形固定資産—前年度より増えたとが、⑫地域医療に取組む病院としての役割を担っている。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②機械備品減価償却率類似団体と比較し固定資産減価償却率が高いことから老朽化が進んでいると思われる。病院本館は昭和51年建設し40年経過しており、建物の安心・安全を確保するため、平成29年度に耐震工事を実施し、雨漏り対応工事を令和2年度に実施した。機械備品についても類似団体と比較して機械備品減価償却率が高くなっており、医療機器に関しては、有効利用するために、保守点検及び精度管理を定期的に行い、耐用年数より長く利用している機器が多く、保守点検者の情報により精度が確保されない場合は、機器の更新を行なっている。

### 全体総括

西秩父唯一の病院であるが、人口減少、高齢化が一段と増したこともあり、医療・経営面のどちらも厳しさが増している。また施設の老朽化も進んでおり、これらの修繕には多額の費用がかかる。小鹿野町単独での運営も非常に厳しい現状である。

当院は、経営改善に向けて平成31年4月に療養病棟を一般病床の回復期病床（地域包括ケア病床）に転換を行った。収益は改善傾向であるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による患者数減少もあり、思うような経営改善は出来ていない。今後は、秩父地域全体で機能分担し、医療を担っていくことが必要になってくると思われる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

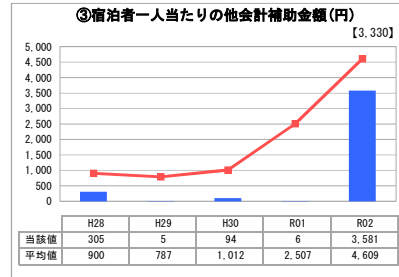
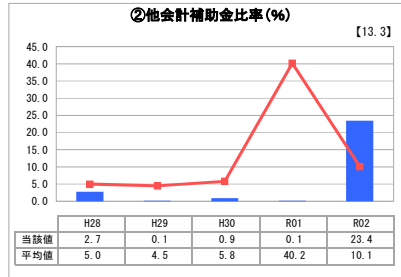
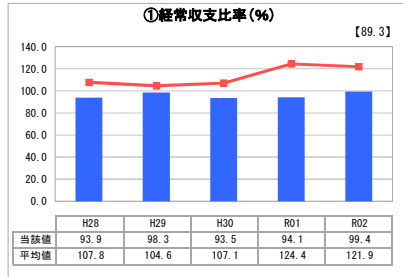
埼玉県小塵野町 国民宿舎 両神荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
0.0	87.1	4,302	168	

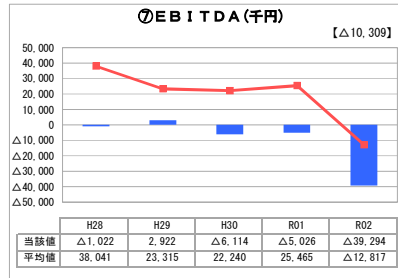
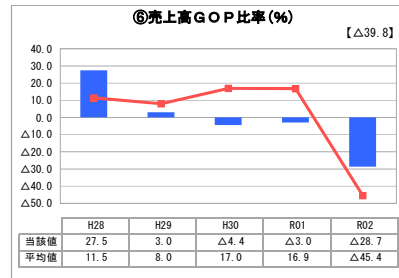
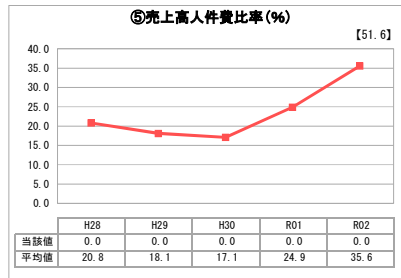
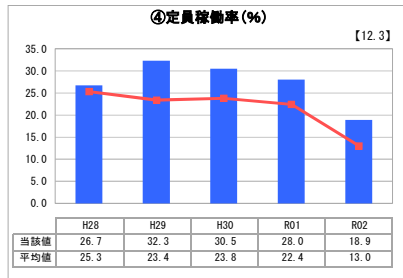
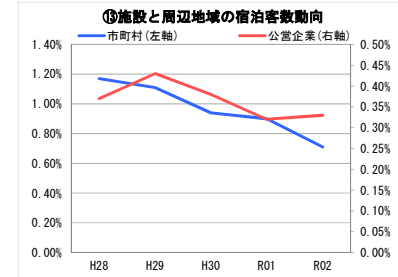
客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
10,291	無	60.0
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
無	85.7	有

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
【	令和2年度全国平均

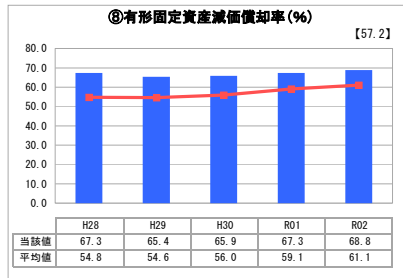
## 1. 収益等の状況



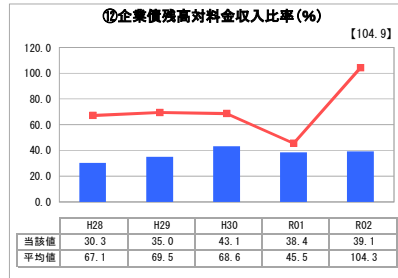
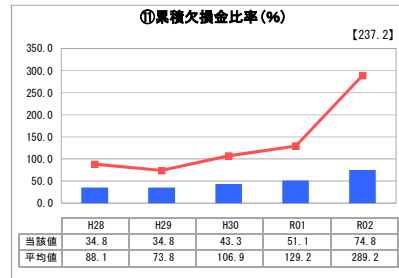
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



⑨ 施設の資産価値 (千円)
475,548
⑩ 設備投資見込額 (千円)
0



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①経常収支比率は、コロナ禍の影響により利用者数、営業収益が減少したため100%を下回りました。  
 ②③他会計補助金比率、宿泊者一人当たりの他会計補助金額は、利用者数、営業収益の減少や修繕費等の費用が増えたため増加しました。  
 ④定員稼働率はコロナ禍の影響により前年度より低下しましたが、集客への取り組みにより類似施設平均値に比べると上回っており経営改善が図られてきています。  
 ⑥売上高GOP比率とは、営業収益に対する営業総利益（粗利益）の割合を表しますが、収益の減少により数値も低下しました。  
 ⑦EBITDAとは、減価償却前営業利益のことですが、類似施設平均値を下回っているため利用人員の増加など収益確保に努めます。

**2. 資産等の状況について**  
 ⑧有形固定資産減価償却率は、類似施設平均値を上回っています。当施設開業から40年以上が経過し今後も施設の老朽化が進むことから、計画的な施設の整備、更新に努めます。  
 ⑨累積欠損比率は、前年度より上昇しましたが類似施設平均値は下回っています。当施設は赤字が続いているため欠損比率が上昇傾向にあります。引き続き経営改善を進め赤字額の縮小に努めます。  
 ⑪企業債残高対料金収入比率は、前年度に比べわずかに増加しましたが、類似施設平均値に比べると大きく下回っています。今後、施設老朽化の進行により修繕費などの施設改修費用の増加が見込まれるため、料金収入の増加に努めます。

**3. 利用の状況について**  
 ④当施設と周辺地域の宿泊客数動向は、全体的には下降傾向にあります。令和2年度は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの感染拡大防止対策が発令されたことなどにより、前年度に比べ利用者数が大きく減少しました。このため、当宿舎ホームページの改修やオンライン旅行サイトへのPRなどを行いました。これらの結果から、周辺地域の宿泊客数動向に比べ当宿舎の宿泊客数は持ち直しの傾向が見られます。

**全体総括**  
 昭和50年に公営国民宿舎としてオープンし、近年の宿泊者数15,000～20,000人前後となっています。開業から40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいるため施設の改修費用も増加する傾向にあり、厳しい経営状況が続いています。令和2年度は、コロナ禍の影響で利用者数、営業収益も低迷しました。厳しい経営環境が続く中ではありますが、より快適に利用できる町営国民宿舎として、健全な事業運営ができるよう経営改善に努めます。

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

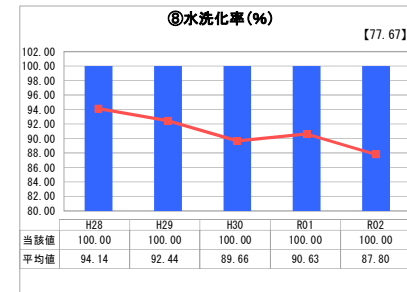
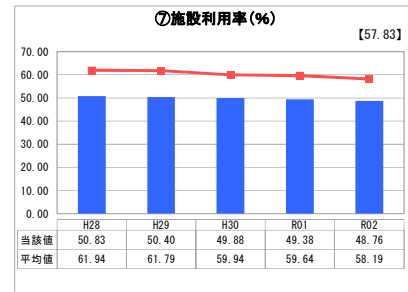
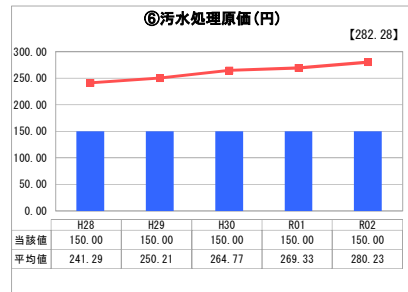
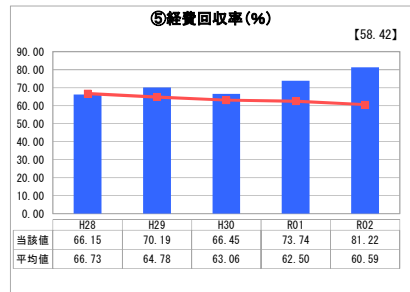
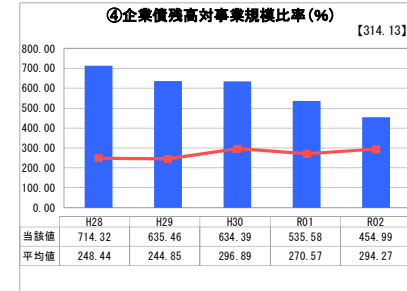
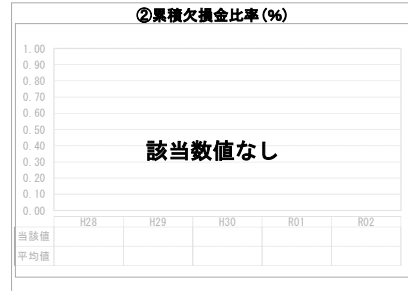
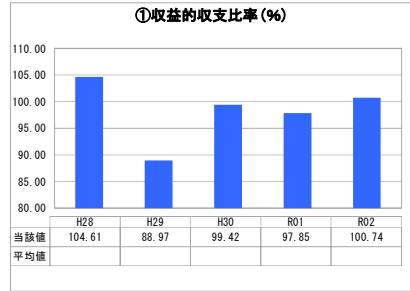
埼玉県 小鹿野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	31.43	100.00	2,090

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,214	171.26	65.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,481	1,712.60	2.03

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
経営の健全性についてはR1年度より改善し収支が黒字(100%以上)となっている。これは合併処理浄化槽の基数が増え、使用料における清掃料の収入が増加したことが主な要因である。今後も使用料を適切に収納しさらなる経営改善に取り組む。

④企業債残高対事業規模比率  
類似団体平均値と比較して高い水準となっているが、これは当町がこれまでに合併処理浄化槽の設置を積極的に推進してきたためである。合併処理浄化槽の設置基数も一定の基数に達し、近年は年間の設置基数が減少傾向にあるため、今後の企業債残高は類似団体平均水準に近づくと考えられる。

⑤経費回収率  
汚水処理に係る費用を使用料のみで賄えてはいない、これは社会情勢等から、消費税の増税分以外は使用料金を値上げしていないことが要因の一つと考えられる。今後については、汚水処理費の増加が予想されるため、適正な使用料水準の確保及び汚水処理費の削減が必要である。

⑥汚水処理原価  
毎年150円台をキープしており、安定した汚水処理コストを維持している。また、類似団体平均値と比較しても、比較的安価な汚水処理コストを実現している。これは、浄化槽保守点検及び清掃作業委託料について、消費税の増税分以外は値上げしていないことが要因の一つと考えられる。なお、今後も社会情勢等を考慮しながら、同水準の汚水処理単価を維持できるように努める。

⑦施設利用率  
類似団体平均値と比較して低い水準となっているが、当町では世帯人員（使用人員）により設置する浄化槽の大きさを決定しており、6名以上の場合は10人槽を設置するなど汚水を確実に処理できるように整備しているためと考えられる。

⑧水洗化率  
浄化槽により汚水処理をしており、設置後すぐに使用開始するため、水洗化率は100%である。

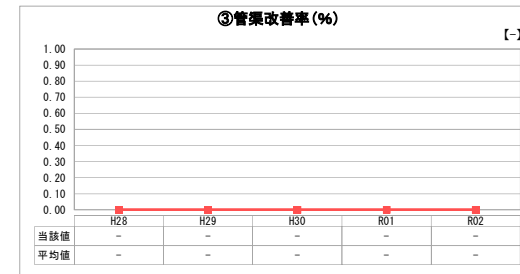
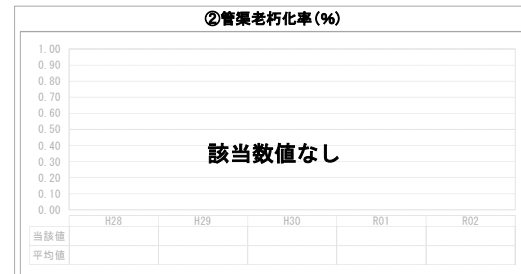
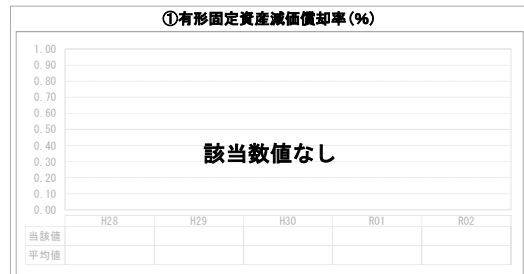
### 2. 老朽化の状況について

当町では全域を市町村設置型浄化槽で整備をしているため、管渠の設備はありません。  
市町村設置型浄化槽の供用開始から20年が経過しますが、浄化槽の耐用年数はおおむね30年となりますので、老朽化対策については今後検討していく必要があると考えます。

### 全体総括

汚水処理費を浄化槽使用料で賄えていないため、現状、繰入金を受けることにより、不足額を補填している状況にあります。  
今後、汚水処理費の増加が予想されることから、収支が赤字である状況を改善するため、料金設定の見直しによる、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に向けた取組が必要であると考えます。

## 2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。